

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 平成 30 年度末の校内調査について、学校が認知したいじめについて、解消した割合は 100%であった。また、平成 30 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえ、当てはまる)」と答える児童の割合は 86%であった。さらに、平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う児童数は 0 人であり、不登校児童の割合は 0.7% (1 人)であった。
- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点は 96.7 点であり、経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童は、3 年 4 人、4 年 3 人、5 年 3 人、6 年 1 人であった。また、市平均を 2 割以上上回る児童は、3 年 5 人、4 年 3 人、5 年 5 人、6 年 4 人であった。さらに、同調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 67%であった。平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において課題である長座体前屈の平均記録は、男子 33.90cm、女子 38.20cm であった。

子どもが安心して成長できる安全な社会(学校・家庭・地域)の実現に関して、大きな問題点はないが、さそい合わせ登校時の連絡なく遅れる児童が固定化傾向にある等、課題が残っている。一方、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に関して、経年調査からは個人差が大きく今後も継続して指導に取り組むとともに学習活用能力をはぐくんでいく必要がある。体力・運動能力、運動習慣調査からは、男子は 20m シャトルラン・50m 走、立ち幅とび、女子は 50m 走以外、全国平均を上回った。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】**

- ・校内調査において、学校が認知したいじめについて、解消した割合 100%を維持する。
- ・小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえ、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度以上にする。(30 年度 86%)
- ・校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童 0 人を維持する。
- ・校内調査において、不登校になる児童の割合を 0 に近づける。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(30 年度 3 年:97.7、4 年:94.2、5 年:94.0)
- ・小学校学力経年調査における、正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント(1 人)減少させる。
<30 年度 3 年:18.2%(4 人)、4 年:12.0%(3 人)、5 年:14.3%(3 人)>
- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント(1 人)増加させる。
<30 年度 3 年:22.7%(5 人)、4 年:12.0%(3 人)、5 年:22.7%(5 人)>
- ・小学校学力経年調査における「学級との友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。(30 年度 67%)
- ・全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である 50m 走の平均の記録を、男女共に全国平均以上をめざす。(30 年度全国 9.37 秒<男> 9.60 秒<女>)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ・年度末の校内調査において、学校が認知したいじめについて、解消した割合 100%を維持する。
- ・小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える児童の割合を前年度以上にする。(30 年度 86%)
- ・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度維持する。(30 年度 0 人)
- ・年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を 0 に近づける。(30 年度 0.7%)

学校園の年度目標

- ・学校生活アンケート(本校実施)の「自分には良いところがあると思うか」の肯定的回答の割合について 80%を維持する。(30 年度 83%)
- ・学校生活アンケート(本校実施)「高津の地域が好き(どちらかといえば好き)」「豊寿会や黒門市場・文楽など地域の人との学習が好き(どちらかといえば好き)」の値について 90%を維持する。(30 年度 97%、94%)
- ・「さそい合わせ登校時に連絡なく遅れる児童数 月間のべ人数」集計結果について、前年度を越えない数とする。(30 年度 71 人)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(30 年度 3 年:97.7、4 年:94.2、5 年:94.0)
- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント(1 人)減少させる。
＜30 年度 3 年:18.2%(4 人)、4 年:12.0%(3 人)、5 年:14.3%(3 人)＞
- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント(1 人)増加させる。
＜30 年度 3 年:22.7%(5 人)、4 年:12.0%(3 人)、5 年:22.7%(5 人)＞
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より向上させる。(30 年度 67%)
- ・全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である 50m 走の平均の記録を、男女共に全国平均以上をめざす。(30 年度全国 9.37 秒<男> 9.60 秒<女>)

学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査における、4 教科(国語・社会・算数・理科)の標準化得点について前年度以上をめざす。(30 年度 別紙参照)
- ・学校生活アンケート(本校実施)の「学習中に発表するのが好きか」について、肯定的回答の割合を前年度以上にする。(30 年度 57%)
- ・学校生活アンケート(本校実施)において、児童の早起きに対しての肯定的回答の割合を前年度以上にする。(30 年度 77%)

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合 100%を維持する。 ・小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度以上にする。(30 年度 86%) ・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う児童数を前年度維持する。(30 年度 0 人) ・年度末の校内調査において、不登校になる児童の割合を 0 に近づける。(30 年度 0.7%) <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート(本校実施)の「自分には良いところがあると思うか」の肯定的回答の割合について 80%を維持する。(30 年度 83%) ・学校生活アンケート(本校実施)の「高津の地域が好き(どちらかといえば好き)」 「豊寿会や黒門市場・文楽など地域の人との学習が好き(どちらかといえば好き)」の値について 90%を維持する。(30 年度 97%、94%) ・「さそい合わせ登校時に連絡なく遅れる児童数 月間のべ人数」集計結果について、前年度を超えない数とする。(30 年度 71 人) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号1 施策名 特別活動】</p> <p>たてわり活動(集会・清掃)を行う中で、リーダーシップ・フォロアーシップを育成するとともに、異年齢交流による人間関係を築く。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 児童アンケート(本校実施)「あなたは、たてわり活動で協力して活動していますか」について、積極的回答の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策番号2 施策名 道德教育の推進】</p> <p>「生活ふりかえりカード」(本校実施)などを活用し、自分や友だちの良いところを見つけることができるようにして、よりよい生活ができるようにする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 児童アンケート(本校実施)「あなたは自分によいところがあると思いますか」の肯定的回答について 80%を維持する。(30 年度 81%)</p>	
<p>取組内容③【施策番号3 施策名 道德教育の推進】</p> <p>「生活ふりかえりカード」(本校実施)などを活用して、学校のきまりや規則を守る(特に廊下階段の歩行)ことができるようにする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 「生活ふりかえりカード」(本校実施)の学校全体のめあてを「廊下階段を安全に歩く」とし、年5回集中的に指導を行う。</p>	
<p>取組内容④【施策番号4 施策名 大阪らしさを活かした取組】</p> <p>ふれあい学習を実施、地域からの有用感・期待感を感じることができるようにする。(カリキュラム改革関連)</p>	

指標	年間指導計画により各学年1回以上実施する中で、児童アンケート(本校実施)「あなたは自分が住んでいる町(高津の地域)が好きですか」の肯定的回答について90%を維持する。(30年度97%)	
取組内容⑤【施策番号5 施策名 大阪らしさを活かした取組】	6学年で子ども文楽学習に取り組み、成果を全校児童・保護者・地域の方々に披露する。 (カリキュラム改革関連)	
指標	子ども文楽学習において、のべ120(20回×6人)回の技芸員の指導を仰ぐ。	
取組内容⑥【施策番号6 施策名 安全教育の推進】	防犯教室、交通安全教室を警察と連携して実施する。また、火災、震災、津波を想定した避難誘導、および避難所開設・保護者への引き渡しなどの避難訓練を地域と共に実施する。 (カリキュラム改革関連)	
指標	避難訓練・防犯教室・交通安全教室を年3回実施し、児童のふり返しカードにおけるめあての達成状況の割合を90%以上にする。内1回は土曜授業で行う。	
取組内容⑦【施策番号7 施策名 安全教育の推進】	さそい合わせ登校時の連絡なく遅れる児童数 月間のべ人数を集計し、児童の意識向上と保護者への理解・協力への手立てとする。 (カリキュラム改革関連)	
指標	年度末で、前年度月間のべ人数71人を超えない数値とするとともに、学期に1回学校だよりで知らせる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

大阪市立高津小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(30年度 3年:97.7、4年:94.2、5年:94.0) ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント(1人)減少させる。 (30年度 3年:18.2%(4人)、4年:12.0%(3人)、5年:14.3%(3人)) ・小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント(1人)増加させる。 (30年度 3年:22.7%(5人)、4年:12.0%(3人)、5年:22.7%(5人)) ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より向上させる。(30年度 67%) ・全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である50m走の平均の記録を、男女共に全国平均以上をめざす。(30年度全国 9.37秒<男> 9.60秒<女>) <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における、4教科(国語・社会・算数・理科)の標準化得点について前年度以上をめざす。(30年度 別紙参照) ・学校生活アンケート(本校実施)の「学習中に発表するのが好きか」について、肯定的回答の割合を前年度以上にする。(30年度 57%) ・学校生活アンケート(本校実施)において、児童の早起きに対しての肯定的回答の割合を前年度以上にする。(30年度 77%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号1 施策名 その他】</p> <p>国語科・算数科で、習熟度別指導を充実させるとともに、全教員により、基礎・基本に絞ったスタディタイム(補充学習)を実施し、学習内容の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標 スタディタイムを年25回以上実施するとともに、小学校学力経年調査における国・算の標準化得点について前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策番号2 施策名 その他】</p> <p>家庭学習習慣の向上を図る。(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標 児童アンケート(本校実施)「あなたは毎日家で勉強(宿題を含む)していますか」について肯定的回答の割合を前年度以上にする。(30年度 85%)</p>	
<p>取組内容③【施策番号3 施策名 授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>特別の教科道徳を中心に授業研究を実施し、指導力の向上に取り組む。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標 特別の教科道徳を中心とした授業研究を年6回以上実施し、その成果をまとめる。</p>	

<p>取組内容④【施策番号4 施策名 体育科の授業の充実】</p> <p>体育学習時に走力を高める運動を継続してとり入れる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 学期に1回50m走の記録を測定し、個々の記録が向上するようにする。</p>	
<p>取組内容⑤【施策番号5 施策名 体育的活動の充実】</p> <p>外遊びを奨励するとともに週1回全校一斉で「外遊び」を実施することにより、運動の機会を増やす。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 児童アンケート(本校実施)「進んで外で遊んだり運動したりしているか」の肯定的回答の割合を前年度以上にする。(30年度78%)</p>	
<p>取組内容⑥【施策番号6 施策名 健康な生活習慣の確立】</p> <p>早寝早起き朝ごはんの意義を「生活・学習ふりかえりカード」や保健だより等で、児童・保護者に啓発する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 児童アンケート(本校実施)「あなたは毎日早起きをしていますか」の肯定的回答の割合を前年度以上にする。(30年度77%)</p>	
<p>取組内容⑦【施策番号7 施策名 健康な生活習慣の確立】</p> <p>爪切り等、身体の清潔についての意識の向上を図る。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 毎週火曜日に爪切り検査を実施し、その都度、児童・保護者への啓発を行う。</p>	
<p>取組内容⑧【施策番号8 施策名 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>電子メディア(スマートフォンを含む)について、児童自らがメディアコントロールできるようにするとともに、保護者・家庭への啓発を図る。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 大阪府警察サイバーボランティアによる出張授業(5年)を行うとともに、保健だより等で保護者・家庭への啓発を図る。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	